



市民と議会をつなぐ
コミュニケーション機関誌



なんじょう 市議会だより

令和3年6月定例会号

No.62

2021年8月



- 特集 議会だよりを振り返る… 2
- 議案ピックアップ…… 4
- 議員別表決状況……… 8
- 一般質問……… 10
- 意見書・決議等……… 21



特集 議会だよりを振り返る

前号（61号）からレイアウトを横書きの左綴じに変更しました。この機会に、合併して南城市誕生以来の「議会だより」の変遷を振り返り紹介します。南城市議会の「議会だより」の最大の特徴は、議員自らが一般質問の原稿を書き、『議案ピックアップ』も広報委員が紹介する議案を選別し自ら原稿を書いているというものです。議会事務局職員のサポートも受けながら毎号、議会公開の原則を大切に発行しています。至らないところも多々ですが、これからも様々な声をいただきながら、よりよい広報誌になるよう努力していきますのでよろしくお願いします。

1・2号 平成18（2006）年3月&6月定例会号

平成18（2006）年1月に一町三村が合併し南城市が誕生しました。市議会は在任特例期間で63人の議員で活動を始めます。委員会は教育福祉・産業建設・総務企画の3常任委員会です。5人の広報委員が試行錯誤しながら「議会だより」の作成を行いました。3月定例会では28人、6月定例会で25人の議員が一般質問を行っています。



第1号



第2号

3～18号 平成18（2006）年9月～平成22（2010）年6月定例会号

在任特例期間が終了し始めて行われた選挙で22名の市議会議員が誕生しました。委員会も総務福祉・産業教育の2常任委員会に整理され、現在の市議会の形が整います。6人の広報委員が「議会だより」の作成を行い定例会ごとに発行していきます。“健康づくり特集”や議会傍聴者の感想文を掲載するなど、市民とのコミュニケーションを模索する試みがなされています。また、第4号（平成18（2006）年12月定例会号）から、一般質問の質問事項を3点まで、本文文字数600字以内、関連写真イラスト等1点という編集方針が示され、基本的に現在まで踏襲されています。



第3号



第4号



第5号



第6号



第7号



第8号



第9号



第10号



第11号



第12号



第13号



第14号



第15号



第16号



第17号



第18号

19号～34号 平成22（2010）年9月～平成26（2014）年6月定例会号

議員定数が20人になり改選で多くの新人議員が誕生しました。6人の新しい広報委員も先輩の活動を引き継ぎ、新たな試みを進めていきます。第21号（平成23（2011）年3月定例会号）で、これまで行われてきた議案を紹介する記事を『議案ピックアップ』として位置づけ、今日まで続いています。また同号



第19号



第20号



第21号



第22号

から『一般質問』の見出しや再質問等の扱いがわかりやすくなり、その基本的フォーマットは踏襲されています。議員自らが執筆する『議案ピックアップ』と『一般質問』は南城市議会の「議会だより」の特徴です。



第23号 第24号 第25号 第26号



第27号 第28号 第29号 第30号 第31号 第32号 第33号 第34号

35号～50号 平成26（2014）年9月～平成30（2018）年6月定例会号

改選された新しい議会では「庁舎建設特別委員会」が設置され、第36号（平成26（2014）年12月定例会号）では委員会で議論されている内容、執行部による進捗状況などをわかりやすく伝える記事を掲載し、その後も新庁舎イメージ図などを紹介しつつ丁寧な説明を継続的に行っています。また「議会報告会」の内容を複数ページで紹介するなど、市民とのコミュニケーションを求めて、工夫し広報するように努めています。第47号（平成29（2017）年9月定例会号）では、決算認定に係る討議（両常任委員会）を見開きで紹介するなど工夫しています。



第35号 第36号 第37号 第38号 第39号 第40号 第41号 第42号



第43号 第44号 第45号 第46号 第47号 第48号 第49号 第50号

51号～61号 平成30（2018）年9月～令和3（2021）年3月定例会号

改選された新しい議会で設置された現在の広報委員で作成している広報誌です。これまで先輩たちが行ってきた事柄を引き継ぎながら、さらなるわかりやすい誌面をと工夫しています。表紙は読者投稿を中心に、その時々



第61号

行政課題をも伝えていこうと考えています。市及び社会福祉協議会の広報誌が横書き左綴じになったこともあり、各自治会での配布における煩雑さを少なくするためにも今年3月定例会の61号から左綴じに変更しました。



第51号 第52号 第53号 第54号 第55号



第56号 第57号 第58号 第59号 第60号

※これまでの議会だよりは、ホームページからご覧いただけます。



第3回臨時会（4月19日）

議案第15号 令和3年度南城市一般会計補正予算（第1号）

- 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分） 6,005万1千円
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親等の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から給付金を支給する事業です。

補正予算の概要

【令和3年第3回4月臨時会】

会計名称	補正額	補正後予算額	議案番号
一般会計	6,005万1千円	243億6,930万7千円	15

※ 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計については補正なし。

第4回臨時会（5月27日）

議案第16号 令和3年度南城市一般会計補正予算（第2号）

- 南城市地域公共交通確保維持改善事業 634万9千円
久高住民のライフラインである離島航路を確保・維持するため、航路事業により生じた欠損に対し補助する事業で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航自粛の影響等により、欠損額が当初見込額より増額となったことによる補正です。
- 新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業 1,205万1千円
新型コロナウイルスに感染した場合、重症化するリスクが高い高齢者や基礎疾患を有する方を対象に、PCR検査を希望者に無償で実施することにより、感染者の早期発見と早期療養につなげる事業です。

議案第17号 令和3年度南城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

- 前年度繰上充用金 1億6,000万円
令和2年度国民健康保険事業特別会計の決算書上の赤字額を補填するために行う繰上充用です。

補正予算の概要

【令和3年第4回5月臨時会】

会計名称	補正額	補正後予算額	議案番号
一般会計	1,840万円	243億8,770万7千円	16
国民健康保険事業特別会計	1億6,000万円	56億6,555万3千円	17

※ 後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計については補正なし。

第5回定例会（6月10日～28日）

同意第5号

教育長の任命について

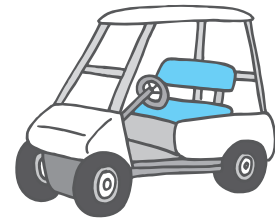


現教育長の上原廣子氏（平成30年9月就任）が8月31日付けで任期満了するので、同氏を再任するための同意案件が「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項」の規定により議会へ提出されました。質疑討論はなく採決の結果、全会一致で同意されました。

議案第18号

久高辺地に係る総合整備計画の一部変更について

久高島における観光ガイドツアーの移動手段はガソリン車であり、沖縄本島で燃料を購入しなければならず負担が大きい現状である。辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律を準用し、自然環境を守りながら、ガイドを行うための電動カートの購入と車庫の設置を行うため計画の一部を変更する。



議案第19号

南城市農漁民研修センター等条例の一部を改正する条例について

南城市玉城漁民研修所の施設機能を廃止するため、南城市農漁民研修センター等条例を改正する必要がある。

この条例は、令和3年7月1日から施行する。

議案第21号

令和3年度南城市一般会計補正予算（第4号）について

- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金（仮称） 6,918万2千円
新型コロナウイルス感染症の影響等により、休業等を理由に生活に困窮される方で、社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の貸付限度額に達した、あるいは再貸付を不承認となった世帯に対し、支援金を支給する事業です。



議案第20号 令和3年度南城市一般会計補正予算（第3号）について

総務・企画関連

- 地域活性化起業人（企業人材派遣制度） 733万円
本年度創設された企業人材派遣制度を活用し、地域活性化の課題に対応して、地域を起こす企業人材の派遣受け入れを行います。活動内容としましては、地域産品のふるさと納税返礼品の掘り起こしや、販路拡大、本市への誘客PR等を行う予定です。
- 南城市新型コロナウイルス感染症対策事業者応援支援金 1億2,000万円
新型コロナウイルスの影響で、経営に深刻な影響を受けている市内事業者を支援することで、経営基盤の安定と雇用維持に繋げてまいります。

市民・福祉関連

- ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯向け給付金事業 5,399万8千円
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている、ひとり親世帯以外の低所得子育て世帯の経済的負担を軽減する目的で、厚生労働省の支給要領に基づき支給してまいります。
- 南城市慢性腎臓病重症化予防事業 895万9千円
本事業は「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」として、国から新規モデル事業として採択されました。（全国で5自治体）人工透析に至る前に予防、治療に繋げることで、住民の健康の保持増進及び医療適正化を図ることが期待されます。

農林水産関連

- 南城市農水産業支援補助金 1,181万円
農水産業収入が20%以上減少した農水産業者に対して補助を行い農水産業者の経営安定と経営維持を行う事業である。
- 南城市さとうきび安定生産確立対策事業 635万8千円
軽減された収穫労働力を圃場管理に向けることで品質向上と単収増を目指し、この事業を導入することで、高齢化及び後継者不足を解消し、経営安定を図る。

教育関連

- 市内小中学校内線電話機設置事業 925万9千円
コロナ感染防止対策のため保護者等との電話が多くなっていることから、各教室から職員室まで移動し連絡を行っているが、円滑な学校運営を進めるため、学校内の内線電話体制を増やし、速やかな情報共有を図る事業である。
- 学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業） 1,520万円
学校における感染症対策等支援として、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入等に係る経費を支援する事業である。
- 市立図書館におけるコロナ感染拡大防止対策事業 500万円
新型コロナウイルス感染予防対策を行う必要がある為、電子書籍数を増やすことによって、市民に幅広いサービス向上を図る事業である。

補正予算の概要

【令和3年第5回6月定例会】

会計名称	補正額	補正後予算額	議案番号
一般会計	3億1,238万5千円	247億9万2千円	20
一般会計	6,918万2千円	247億6,927万4千円	21

※ 国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計については補正なし。

議案第20号 令和3年度南城市一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議

歳出の2款1項13目の総務費にコミュニティバス利用促進事業1,000万円。同じく2款1項13目の総務費に南城市文化センター（シュガーホール）感染症対策事業825万円が提案されていることに對し、以下の理由から修正動議が行われました。

1. 上記2事業について、一般質問での質疑や総務福祉委員会での審査を通して様々な議論が交わされたが、特段の緊急性は感じられず費用対効果にも疑問が残る。
2. 教育部内で、学校現場の水道の蛇口の自動水栓化について検討したとのことだが、実現に至っていない。
3. 歯磨き時の感染拡大を危惧し、歯磨きを一時休止している学校もあることから教育現場を優先すべき。
4. 教職員のワクチン接種が進んでいない中、教職員や児童生徒の負担軽減のためにも教育現場の感染症対策を優先すべき。

質疑、討論（反対討論1・賛成討論3）を経て修正案の採決を行った結果、賛成9・反対9の賛否同数となったため議長裁決の結果、①南城市文化センター感染症対策事業費825万円を165万円に減額。②コミュニティバス利用促進事業費1,000万円を全額減額し合計1,660万円を幼稚園、小中学校感染予防対策事業に増額し、事業費を1,768万1千円に増額する修正案が可決されました。

主な討論内容

（反対）

- ・Nバス、シュガーホールの利用者が減少している現状を鑑みて早急に事業推進すべき。

（賛成）

- ・提案された2事業の必要性は感じるが、緊急性や児童生徒の安全確保を考えると教育現場の感染症対策を優先すべき。
- ・「こどものまち宣言」を行った南城市だからこそ教育現場の安心安全な環境づくりに努めるべきであり、夏休み期間を利用して設置でき得る安価な機種の情報もあることから是非、今議会で予算化していただきたい。
- ・昨年度のコロナ対策は、内容に多少の疑義があっても事業実施を優先して議決した経緯がある。しかし、予算の執行率が低かったり、年度内に実施できなかった事業があって市民目線での議決ではなかったのではないかと反省するところがある。
- ・今回の事業も提案に疑義がある以上、早期議決にこだわらず所管で慎重に検討して提案していただきたい。
- ・修正案は市民目線でいえばもっともな案であり、市民の理解も得られると思う。

議案番号	件名	議決結果
第3回臨時会 会期日程：令和3年4月19日（月） 1日間		
承認第1号	専決処分の承認について	承認
議案第15号	令和3年度南城市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
第4回臨時会 会期日程：令和3年5月27日（木） 1日間		
議案第16号	令和3年度南城市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第17号	令和3年度南城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第5回定例会（6月） 会期日程：令和3年6月10日（木）～28日（月） 19日間		
報告第1号	専決処分の報告について	報告
報告第2号	専決処分の報告について	報告
報告第3号	令和2年度南城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
同意第5号	教育長の任命について	同意
議案第18号	久高辺地に係る総合整備計画の一部変更について	可決
議案第19号	南城市農漁民研修センター等条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第20号	令和3年度南城市一般会計補正予算（第3号）について	修正可決
	議案第20号 令和3年度南城市一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議	可決
議案第21号	令和3年度南城市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
陳情第7号	建物管理業務委託入札及び将来的な維持管理に関する要請書について	採択
発委第4号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書について	原案可決
発委第5号	新型コロナウイルス感染拡大に伴う国民健康保険税（料）の特例減免等の継続を求める意見書について	原案可決
発委第6号	コロナ禍の中だからこそ、こどもたちの健やかな成長のために「現物給付」への国のペナルティ全廃と18歳までこども医療費無料制度実現こども医療費無料制度の改善を求める意見書について	原案可決
発議第3号	佐敷東地区沿岸部の住環境悪化に対する沖縄県の対応を求める意見書について	原案可決
発議第4号	佐敷東地区沿岸部の住環境悪化に対する沖縄県の対応を求める要請決議について	原案可決
	閉会中の継続審査申し出について（総務福祉委員会・産業教育委員会）	決定
	閉会中の継続調査申し出について（総務福祉委員会・産業教育委員会）	決定

議員別表決状況

(○：賛成、×：反対、棄：棄権、欠：欠席、除：除斥、無：無効)

決まったこと

内容案内	安谷屋 正	運天 貴也	宮城 秋夫	森山 悟	新里 嘉	宮城 康博	島袋 裕介	仲間 光枝	前里 輝明	知念 俊也	上地寿賀子	吉田 潤	平田 安則	中村 直哉	大城 竜男	宮平 憲二	松田 兼弘	親川 孝雄	玉城 健	国吉 昌美	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
← 詳細はP4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
← 詳細はP4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
← 詳細はP5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
← 詳細はP6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
← 詳細はP7	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	欠	×	×	×	○	／
← 詳細はP5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
← 詳細はP21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
← 詳細はP22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
← 詳細はP23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	／

※議長の場合、過半数議決については、議決に加わる権利（表決権）はなく、可否同数の場合に決定する権利（裁決権）があります。



まつだ けんひろ
松田 兼弘



◀ **議会中継**
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。



おおしろ たつお
大城 竜男



◀ **議会中継**
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

**質 新型コロナウイルス感染症対策について
ワクチンの安全・迅速な接種について**

- ①65歳以上の接種の進捗について
- ②16歳から64歳の接種スケジュールを伺う
- ③保育士の優先接種について伺います

**答 64歳以下優先は基礎疾患
高齢者施設、保育、幼稚園を優先に**

- 市民部参事 森田 ゆかり
 - ①1回目接種率40.3%。2回目19.0%。
 - ②基礎疾患の方、高齢者施設等の従事者、市内保育施設職員及び幼稚園職員へ6月21日以降接種券を発送。めどが立ち次第、64歳以下について年齢の高い順から接種券を発送し、予約を受付。
 - ③保育施設において、園児や保護者、職員の感染、濃厚接触者などが増えたことや休園により親が仕事を休まざるを得なくなった場合に社会的影響が大きく、緊急事態宣言下において重要な施設であることから優先接種することを決定した。

質 PCR検査について

ワクチン接種と同時並行で大規模検査の実施を求めます。学校PCR検査支援事業について伺います。

答 市内小中学校をサポートしたい

- 教育部長 與那嶺 幹

学校で感染者が出た場合に迅速な検査体制を構築し、島尻教育事務所、検査機関が連携しPCR検査を実施、保健所、教育委員会が市内の小中学校をサポートしていきたい。

質 「生理の貧困」 支援について

コロナ禍のなかで経済的な負担が重く生活必需品である生理用品を買えない女性の心身の健康を守るため生理用品の無償提供を求めます。

答 無償支援できるよう積極的に取り組む

- 教育長 上原 廣子

養護教諭の協力を得て子どもたちにあたっていききたい。財政面は、いろんな手を使って確保したい。
- 市長 瑞慶覧 長敏

生活困窮家庭の子どもたちの支援等無償提供できるよう積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

**質 防衛施設と周辺地域との
調和を図るための施策について**

防衛省は昭和49年から「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」などに基づき、防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策を行っています。その法律の第8条(民生安定施設の助成)について伺います。

- (1)民生安定施設の助成を活用した事業への考え方
- (2)本市の事業実績
- (3)自治会からの要望があった場合の対応

また、つきしろ自治会から長年にわたって要請してきた公園の整備も民生安定施設の助成を活用することを念頭にしたものです。防衛施設の設置・運用により周辺地域の住民の生活が阻害されていると認められるよう、事業採択を受けた自治体や関係者から助言を受けて具体的な因果関係がわかる動画や写真を集めています。(本会議場で動画・写真、過去の新聞記事などを披露) つきしろ区の日常は「防衛施設の設置・運用において、周辺地域の住民の生活が阻害されている場合」に当たると思うが市長の見解も伺います。

答 対象要件等基準に合致するのであれば積極的に活用していきたい

- 企画部長 宮城 光也
 - (1)事業を実施する場合、国及び県などのあらゆる補助事業等の活用を積極的に推進している。
 - (2)知念農村広場屋外運動場の改修、知念屋外運動場、玉城漁民研修所、富祖崎地区・手登根地区・伊原地区の学習等共用施設、津波古コミュニティ共用施設の整備がある。
 - (3)要望する内容によって、関係する担当課と調整して頂くことになる。
- 市長 瑞慶覧 長敏

実際に生活する方々からの声は切実なものがあると思ひます。関係部署とも連携して、どのようなことができるかを考えていきます。



なかま みつえ
仲間 光枝



◀議会中継
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 市民の請願権とその対応について

市民等が行政に対し、要望、要求を行う権利は請願法によって保障されています。本市は合併後様々な課題を抱え現在に至りますが、請願類の現状と対応について伺います。

答 検討、議論を行い誠実に処理している

- 総務部長 糸数 義人
内容によって「検討中」「完了済」「棄却」等で分類し対応しているが、回答の有無についての把握にも努めたい。
- 副市長 新屋 勉
予算や様々な制約のある中、優先順位を決めて対応していく。
- 市長 瑞慶覧 長敏
今後とも誠実な対応に努めたい。

質 コロナ禍中における困窮化の現状と支援について

長引くコロナの影響は、様々な業種・職種へ波及し始め、今後も失業や廃業等、加速度的増加の様相です。衣食住の安定を失う恐怖は想像に難しくなく、DVや虐待・自死の増加、孤独・孤立化で支援に繋がりにくい状況が顕在化する中、それらをどう抑止し、市民生活や尊厳を守っていくか、その事が待たなしで問われています。(関連13項目について質問)

答 今後も本市の実情に添った支援事業を検討していく

- 福祉部長 城間 みゆき
生活保護受給者(月平均)はH30年度421人、R元年度446人、R2年度468人。児童虐待に関する相談・通告件数は延べ281件。DVに関する相談件数は延べ125件で救済・支援に至ったケース48件。(何れもR2年9月からR3年4月末までの数)
- 教育部長 與那嶺 幹
就学援助受給者数はH30年度771人、R元年度1,039人、R2年度1,131人。不登校は増加傾向。心理面、福祉面からの支援を職員、スクールソーシャルワーカー、教育相談員等と連携し組織的に対応している。
- 企画部長 宮城 光也
国及び県の新たな支援策や支援事業の動向に注視し全国の自治体の取組みも参考にしながら進める。
- 市長 瑞慶覧 長敏
いつでも相談に来て下さいというような発信をしていくことが重要と思う。



ひらた やすのり
平田 安則



◀議会中継
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 1. 中城湾港港湾計画の佐敷沿岸域の諸課題対応について

中城湾港長期構想が令和3年4月に県案が公表されました。佐敷東地区は30余年の間、事業化されないまま放置され、沿岸域の住環境悪化を招いている。今回の構想から除かれているが市の対応方針を伺う。

答 県の責任ある対応を求めている

- 土木建築部長 玉城 勉
港湾計画に位置付ける考え方、海岸整備事業を中心とした土地利用に移行する二パターン考えています。
どれが実現的で早く課題解決が可能か協議を進め、県知事へ要請を行い、県の責任ある対応を求めている。

質 2. 来年度南城市一般会計予算作成方針について

沖縄振興特別措置法の期限切れを年度末に控え、市の予算編成方針及び一括交付金事業継続への対応方針を伺う。

答 事業継続に向け要請を行ってあります

- 総務部長 糸数 義人
国、県の動向を踏まえ市の財政状況に則した予算編成を行います。
- 企画部長 宮城 光也
ソフト事業は、スポーツツーリズム推進事業、デジタルアーカイブ実施事業、優良繁殖牛導入支援事業、優良乳用牛リース支援事業、学習支援員配置事業、特別支援教育支援員配置事業、ICT支援員派遣事業、なんじょう歴史文化保存継承事業の8事業で総額約2億4千4百万円となっています。ハード事業は、市道整備、かんがい排水整備、下水道整備など総額約106億6千5百万円となっており、事業継続は不透明な状況ですが事業継続に向け要請を行ってあります。

質 3. 佐敷外間公民館について

ひび割れ等で安全性に疑念があり早期に建替える必要があります。市の対応方針、財政支援について伺う。

答 令和4年度の採択に向けて調整しています

- 企画部長 宮城 光也
ムラヤー建設補助金活用の助言を行っており、令和4年度の採択に向けて調整しています。
- 市長 瑞慶覧 長敏
現場を確認し、こういった事が出来るのか考えていきたい。



みやぎ やすひろ

宮城 康博



◀ 議会中継

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。



みやぎ あきお

宮城 秋夫



◀ 議会中継

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 教育行政について

- ①本市の小1プロブレムの状況及び対策として講じている措置等。
- ②佐敷幼稚園と小学校で行う幼小接続のモデル的実践の概要。
- ③特別支援学級の児童数や特別支援員の配置要望数の5年間の状況。

答 接続期のモデルケース作成を進めていく

- 教育部参事 與儀 毅
 - ①小1プロブレムの状況は、入学後の授業中における離席等授業に集中することができない児童が散見することもあります。児童が授業に集中できるよう授業構成等検討を行う予定。対策は、学習指導要領に示されている小学校入学当初においてスタートカリキュラムを実施し、生活科を中心とした合科的・関連的指導や、1コマを45分ではなく短い時間で区切って設定するなど、すべての児童が安心して学びがスタートできるように取り組んでいる。
 - ②佐敷小学校においてはスタートカリキュラム、佐敷幼稚園のアプローチカリキュラムの見直しと併せて、幼小接続のモデル的实践に取り組む接続期のカリキュラム方針を作成し、モデルケースの作成を進めていきたい。
 - ③特別支援学級小学校児童数は、平成29年度99名、平成30年度115名、令和元年度130名、令和2年度163名、令和3年度164名です。特に学校からの配置要望等は聴取していませんが、支援委員会で判定された支援を必要とする児童・生徒数の確定後、予算の範囲内で各学校に配置しています。また支援を必要とする児童・生徒数は、平成29年度99名、平成30年度113名、令和元年度121名、令和2年度127名、令和3年度156名となっています。

※「南城市公園・緑地再整備計画について」も質問しました。

質 人事異動方針について

- ①人事異動における異動対象の年数
- ②女性職員の活躍推進目標値などについて伺う

答 毎年方針を定めて適正に実施している

- 総務部長 糸数 義人
 - ①概ね4年である。
 - ②女性職員向け研修制度を充実させ、女性管理職登用率20%を目指す。

再質 人事異動による職員全体のモチベーション低下にならないよう配慮して頂きたい

- 市長 瑞慶覧 長敏
 - 提言のとおりモチベーションは大事であり、チームとして全体で高めていく。

質 市立幼稚園の認定こども園移行について

- ①方針変更に係る4地区への説明会の開催予定
- ②公私連携型への公募の状況などについて伺う

答 市民説明会を開催できるよう努力する

- 市長 瑞慶覧 長敏
 - ①コロナの状況を見極めながら4地区で開催できるよう努める。
- 福祉部参事 外間 孝明
 - ②現場説明を終え、今後は企画提案書の受理及びプレゼンテーション審査を予定。

質 地域課題について

- ①防災無線用スピーカー設置状況及びその課題への対策
- ②公園等指定管理の状況及び安全安心な公園になるような対応など伺う

答 課題解決に向け取り組む

- 総務部長 糸数 義人
 - ①市内61箇所に設置、聞こえにくい等問合せがあるので改善する様取り組んでいく。
- 教育部長 與那嶺 幹
 - ②除草作業、遊具などの維持管理マニュアルを作成し、市民にとって安全安心な公園になるよう運用管理する。



まえざと てるあき
前里 輝明



◀議会中継
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 特別支援教育の充実について

児童生徒の障がいに応じて学校、保護者、関係機関と相談、連携しながら支援を行う特別支援教育の支援体制、各分野(福祉・医療等)の連携体制について伺う

答 支援体制の強化に努めていく

- 教育部参事 與儀 毅
特別支援教育コーディネーターや心理士との連携強化を図るため、令和3年度より教育指導課に社会福祉士の有資格者を配置し支援体制の強化を図り、福祉や医療関係とスムーズな繋がりが実現できるよう支援体制の強化に努めていきます。

質 オンライン授業の取組について

休校期間中の授業等の対応とオンライン授業の活用について伺う

答 日常的に利用する環境を整えていく

- 教育部長 與那嶺 幹
休校期間は各学校から児童生徒へ学習用プリント教材等を利用した課題の配布、学校によっては、オンライン学習等を実施している学校もあり、一部の学校はオンライン機能を活用した健康観察や同時双方向型の学習指導を実施、各校において工夫を凝らして対応している状況であります。
教科書に記載されているQRコード等を読み取り、動画での学習機能等の活用も利用でき登校できない子や別室登校の子の活用も非常に有効的と考えています。

質 地産地消について

新型コロナウイルス感染拡大により、飲食店が時短営業や休業になり影響を受ける一次産業の支援について地元食材を使う消費喚起を促す地産地消の推進を図れないか伺う

答 地産地消に向けて協議を進めていく

- 農林水産部長 玉那覇 勲
関係機関と連携し地産地消の協議を進めており、拠点産地の品目を中心に農産物等の活用を検討中、拠点産地の野菜等を中心に学校給食と連携して食育も含めて学校給食にも提供できないか協議を進めております。



しんざと ただし
新里 嘉



◀議会中継
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 1. 教育支援体制強化について

コロナ禍の影響、新学習指導要領への移行等、学校現場は手探り状態の厳しい運営を余儀なくされています。学生等も巻き込んだ有償ボランティア配置など更なる支援が必要と考えるが所見を伺う。

答 1. 検討していく

- 教育部長 與那嶺 幹
今後も各学校の状況を踏まえ、制度の活用を促進していきたい。

質 2. 児童館について

- ①玉城、船越地区の児童館整備については、公共施設の新規建設方針としてある、多機能施設として進めているのか伺う。
- ②既存の児童館の今後の方向性について伺う。
- ③本市においても児童館整備計画を策定すべきと考えるが所見を伺う。

答 2. 調整、検討中

- 福祉部参事 外間 孝明
①玉城、船越地区における児童館の整備方法につきましては、現時点では定まっておりません。
②市内7児童館中、4館は現状維持、1館(大里南)を集約、2館(大里北・仲村渠)を廃止する計画である、廃止する2館は老朽化のため安全性を考慮し用途を廃止し、その後は利用状況等を考慮したうえで児童館機能維持について検討していく考えです。
③前向きに調整、検討をしていきたい。

質 3. 旧大里北小跡地利用について

跡地利用について、地域との連携をどのように考えているのか伺います。

答 3. しっかり連携していく

- 総務部長 糸数 義人
跡地利用については近隣住民の方々に迷惑にならないことは基より、地域の望まれる利用価値の高いような方向性を模索していきたい、そのためにも住民の考え方も参考にできるような仕組みづくりができればと考えています。

※その他、島尻消防の人員適正化計画についても質問を行ってます。



しまぶくろ ゆうすけ
島袋 裕介



◀ **議会中継**
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 包括業務委託について

- ①包括委託後の人材確保、給与、待遇等の委託状況について伺う
- ②業務委託後の成果と課題について伺う

答 しっかりと検証

- 総務部長 糸数 義人
 - ①人材は委託事業者にて採用活動を実施し確保を行っており、給与については業務委託前の額を下回らないことを基本とし待遇等については委託事業者の社内規定に基づき各種法令を準拠した取扱いを行っております
 - ②今年度中に関係課にヒアリング等を行い、検証していきたいと考えております。

質 観光について

- ①コロナ禍の影響による観光の現状について伺う
- ②コロナ禍による観光の課題について伺う

答 分散型で付加価値の高い体験滞在型の観光まちづくり

- 企画部長 宮城 光也
 - ①市観光協会や民間の観光施設への聞き取り調査では、どの施設においても売上が減少している状況。
 - ②コロナ禍以前からの課題となっているオーバーツーリズムへの対応。アフターコロナを見据え、分散型で付加価値の高い南城市の特徴を活かした体験滞在型の観光まちづくりをさらに推進していく必要があると考えております。

質 コロナ対策について

コロナ禍で市民の生活は厳しい状況が続いている。これまでも市長の報酬や賞与を削減してコロナ対策の予算にまわすべきではないかと提案してきましたが市長の考えに変わりはないか伺う。

答 様々な検討が必要

- 市長 瑞慶覧 長敏

提案では市長三役のみではなく、議長や議員も含まれており、削減額の根拠、どの程度まで範囲を広げるべきか、いつまで継続するか、コロナ感染症対応については、国策として進めており、市町村レベルで財源を確保する必要があるかなど様々な検討が必要。市民の安全安心を守っていくのが使命だと考えております。



なかむら なおや
中村 直哉



◀ **議会中継**
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 1. 玉城小学校区の児童館について建設に向けた進捗を伺う

答 1. 具体的取り組みはない

- 福祉部参事 外間 孝明

玉小校区は現在具体的な取組はない。

再質 今回もゼロ回答で非常にショックである。玉小校区の児童館は全体計画の中での優先順位は

- 副市長 新屋 勉

全体計画の中での優先順位は特にないが実施計画で全体の各部の状況を聞いて熟度が増している部分が事業化していくというような状況。

再質 中央公民館を、児童館も含んだ複合的な施設として再整備する提案をしてきたが所見を伺う

- 福祉部参事 外間 孝明

中央公民館は令和9年に用途が廃止になることで個別計画の中で謳われている。現状、コンクリートの剥離もあって危ない施設である。改修して活用は厳しい。

質 2. 公共交通再編による影響について

- ①津波古地区と稲嶺地区での市外線との結節点計画の進捗と課題
- ②琉球バス路線番号53番廃止による影響と対策

答 2. 結節の利用度を上げていきたい

- 企画部長 宮城 光也
 - ①馬天入口は、Nバス及び幹線バスの運行本数が多く、待ち時間も短くスムーズに乗り継げることから、利用頻度も高い。しかし、稲嶺十字路及び仲程十字路は、馬天入口と比べて少ない状況。
 - ②市外へ移動する場合乗り継ぎが必要となった事が影響、対策として運行本数が多い富里や堀川でNバスとの接続ができるよう努めている。

再質 ①志喜屋～奥武を再開できないか
②稲嶺と仲程の結節を多くする方法、市民の利用価値を上げる考えについて

- 企画部長 宮城 光也
 - ①公共交通会議での協議は厳しいが、広域行政組合へは提案、相談を検討する。
 - ②Nバスと幹線バスのバス停が離れている部分を今後改善できるか。あとは上屋の整備ができるかも含めて関連する所管課への要請も含めて、検討していく。



もりやま さとる
森山 悟



◀ **議会中継**
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 教育関連について

- ①タブレットを活用したオンライン授業の市内小中学校での対応について伺う。
- ②今後の授業日数の不足日、勉強の遅れにどの様に対応していくのか、市の取り組みについて伺う。
- ③今回も、市の中学3年生に対して無料塾の実施はあるのか伺う。
- ④学校の先生方、児童館、学童、給食センター職員に対して優先的にワクチン接種の考えはあるか伺う。

答 工夫を凝らして対応して行く。

- **教育部長 與那嶺 幹**
 - ①小学校4校、中学校1校で実施しており、各校でも早急に対応できるよう準備している。
 - ②授業日数の確保として、余時数や学校行事等の見直しによって、必要な時間数を確保する。(夏休みは通常の日数を確保する)
 - ③現時点で無料塾を開設する予定はない。
 - ④今後検討していく。

質 スポーツ施設、公園等について

- ①新開球場の整備の方向性について伺う。
- ②対象施設等の整備する優先順位について伺う。
- ③今後市が考える公共施設の利活用について伺う。

答 施設の使用率を高めていく

- **教育部長 與那嶺 幹**
 - ①野球場としての機能を維持し、球場周辺にスリー・エックス・スリーコートや遊び場を設置、遊歩道を整備していく計画になっています。
 - ②施設の老朽化の程度を確認し、地域間のバランス等を考慮し、優先順位の検証を行って行く。
 - ③本計画に基づいて施設の使用率を高めていきたいと考えている。

質 空き家利活用の推進

- ①南城市の空き家等の実態調査について伺う。
- ②市民から空き家対応の相談がないか伺う。
- ③今後の市の空き家対策の取組について伺う。

答 ● 市民部長 永吉 盛哲
実態調査を行い対応していく。



たまき つよし
玉城 健



◀ **議会中継**
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 1. 船越校区児童館建設について

船越校区児童館建設について進捗状況を伺います。

**答 1. 候補地が決定次第
用地選定委員会に諮る**

- **市長 瑞慶覧 長敏**
船越小学校校区に関しては、用地選定がある程度見えてきているので用地選定委員会を早く進めるように指示は出しております。

質 2. 市道船越前川線擁壁について

船越前川線、街グリーン付近の擁壁の傾きが進んでいるように感じますが見解を伺います。

答 2. 現状把握・経過観測を行っている

- **土木建築部長 玉城 勉**
令和2年からは二つの地点の目地においてずれ具合を計測するなど擁壁の傾き等が進行していないか確認を行っております。直近の観測においては目立った目地部のずれ等の変化はないものと判断しており、目地部の状況やその他変化の兆候等があれば適時対応していきたいと考えております。

**質 3. 公立幼稚園の
認定こども園移行について**

認定こども園移行のスケジュール及び送迎時のバス補助員について伺います。

**答 3. 補助員をつける方向で
進めていきたい**

- **福祉部参事 外間 孝明**
知念・玉城幼稚園について、令和3年8月までに公私連携法人の選定、9月に法人による保護者説明会を実施、11月に園児募集、令和4年4月運営開始する予定で、指定の期間は5年間です。
- **市長 瑞慶覧 長敏**
認定こども園は3・4・5歳が対象となりますので公私連携法人のほうとしっかり協議をし、補助員をつけてもらえるようそういう方向で進めていきたいと思っています。



ちねん としや

知念 俊也



◀ 議会中継

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 1. Nバス財政負担懸念

公共交通再編実施計画の中で、年間利用者26万4千人試算でスタート。公共交通において、おでかけなんじい併用の中、利用者試算コロナ禍の影響あると思うが潜在的な利用者いるのか疑問。本年度事業経費1億余の中将来的な財政負担を危惧するが見解を伺う。

答 1. 利用促進していく。

●企画部長 宮城 光也

令和2年度利用者数約9万3千人、運行経費6千5百余、運賃収入1千423万余。運行直後よりコロナ禍の影響を大きく受けている。令和2年度の取組みですが、Nバス感染対策ガイドライン及びマニュアルの作成、利用促進策として1周年キャンペーンなどを実施。令和3年度は新型コロナ臨時交付金を活用したコミュニティバス利用促進予定。

●総務部長 糸数 義人

本市の財政状況は、決して楽ではないが、公共交通は基本的人権の観点から利用者の日頃の移動手段として支えていきたい。

質 2. 保育従事者早期ワクチン接種を

地域に不可欠な社会基盤として子供達の育ちを保障し、働く保護者等を支える保育従事者への早期優先ワクチン接種が望まれるが見解を伺う。

答 2. 早期接種予定していく。

●市民部参事 森田 ゆかり

国が示す基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者の接種順位に合わせ保育施設職員及び幼稚園職員への接種を実施する予定である。現在個別市内医療機関で接種できないか調整中。市民である職員を優先的に実施し、市外住所の職員においても対象とする予定。



みやひら けんじ

宮平 憲二



◀ 議会中継

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 饒波川の雨水逆流による、仲程区域に存する農地の被害回復について

- ① 饒波川からの逆流の原因について
- ② 早急な対策について
- ③ 件の柵は小学校の通学路にあり危険なので、転落防止柵の設置は可能か
- 再③ 柵の整備時期について

答 抜本的な対策は、関係課と検討し対応します。

●農林水産部長 玉那覇 勲

- ① 大雨時には河川断面が狭隘なため、暗渠の流下能力が低下し、農地側に雨水が滞留し被害が生じている。
- ② 応急処置として集水柵の周辺の除草及び塵芥について早急に対応し、抜本的な対策については、関係課と連携し検討します。

●土木建築部長 玉城 勉

- ③ 諸状況を確認し対応して参ります。

●農林水産部長 玉那覇 勲

- 再③ 諸問題も確認しながら検討します。

質 基幹産業である畜産業の課題について

- ① 県内に7ヶ所あるJA沖縄が管理する牛肥育施設の内、4施設の廃止が決定していますが、畜産農家への影響について
- ② JA沖縄が販売する今年4月～6月期の畜産飼料価格が前期比で、t当り5600～7200円値上がりしています。市として農家への支援を検討できないか
- ③ 一括交付金終了後の、優良繁殖牛導入支援事業及び優良乳用牛リース支援事業の事業継続について
- ④ 産業においては日々大量に糞尿が排出されており、その糞尿を処理するバイオマス施設等が南城市にないことで、どのような問題が発生しているのか伺います。

答 基金を活用しながら、維持したい

●農林水産部長 玉那覇 勲

- ① 施設の廃止により子牛価格の下落やブランド牛の頭数減少等があると考えております。
- ② どうしても飼育するためには必要な餌になりますので、ある一定の交付金を予定しています。
- ③ 一括交付金が途絶えても、基金を活用しながらそれを維持できるように検討していきたいと思っております。
- ④ 畜産農家においては、経営の維持、規模拡大、環境問題等が懸念されます。



あだにや ただし

安谷屋 正



◀ 議会中継

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 認定こども園について

- ① 公立1園に対する市民の不安を解消できる根拠を伺う。
- ② 市長の方針変更で、当初計画より2年も開園が遅れる佐敷地区での説明会の早期開催を求める。
- ③ 認定こども園移行後の給食費の保護者負担が増えないよう取り組んでいただきたい。

答 以下の通り

- 副市長 新屋 勉
 - ① 公立1園で公立の役割、公平性が保てるかという市民の不安を解消できるかの検証結果はまだ十分には描けていない。
- 市長 瑞慶覧 長敏
 - ② 新型コロナの感染状況を踏まえて担当課と調整する。
 - ③ なるべく保護者の希望に沿うような形で進めたい。

質 新型コロナ対策について

- ゆまぢり会、ニライ・カナイ両会派が要請したコロナ対策の中で、以下の検討結果を伺う。
- ① 小中校の保健室、トイレに生理用品を準備し無償で使用できるように求める。
 - ② 市内全事業者へ一律の支援金を支給し経営の安定を図ること。
 - ③ これまでのコロナ対策の検証を早急に行い新たな支援策を講じること。

答 以下の通り

- 企画部長 宮城 光也
 - ① すでに保健室に準備し、必要に応じて無償提供している。
 - ② 前年同月比50%以上減収の事業者310者に対し支援金を交付している。
 - ③ 感染拡大の状況や市民および事業者のニーズを踏まえた新たな支援策の検討を進める。

再質 ① 売り上げ減を証明できない個人事業者も多数おられると思う。そうした事業者を支援する観点から全事業者へ一律給付を検討していただきたい。
 ② 水道の自動水栓化は学校現場を優先して行うべきだと思ふが見解を伺う。

答 ● 企画部長 宮城 光也
 ① 支給基準や支給額の整理が必要なので引きつづき検討する。

答 ● 教育部長 與那嶺 幹
 ② 提案を基に再検討する。



うんてん たかや

運天 貴也



◀ 議会中継

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 新型コロナ感染防止について、市へ4回の要請書を提出しましたが見解を伺う

- ① ワクチン接種会場へ移動が困難な市民に対し、送迎を実施する事について
- ② 小中学校にて、生理用品の無償配布を行う事について

答 以下の通り

- 福祉部参事 森田 ゆかり
 - ① 移動が困難な市民に対する支援の必要性について、おでかけなんじいの活用も考えた方が良いか協議している。
- 教育部長 與那嶺 幹
 - ② 保健室で保管し配布している。生徒から相談しやすい体制を構築。スクールソーシャルワーカー等を中心に、福祉の繋ぎも含めて、サポート体制を充実させ周知していく。

質 園児、児童生徒の通学環境について

- ① つきしろ地域の、旧通園通学バスとNバスの乗車数を伺う
- ② ワンジン坂は、知念小中学生の通学路として利用されています。路面は陥没や亀裂、未舗装部分は滑って転ぶ危険な状態。防災路の活用も含め早急な整備が必要と思う

答 ①以下の通り

- 企画部長 宮城 光也
 - ① 令和元年度の旧通園通学バスの登録者数は84人。Nバスの1日平均乗車数は約30人。小中学生へアンケートを取る予定。具体的に調査し、対応策に繋げていく。
- 土木建築部長 玉城 勉
 - ② 修繕が必要な範囲、方法等を調査検討し対応したい。未舗装部分については、必要性や緊急性、優先性等から、実施の可否も含めて検討する。

質 市道知念157号沿いは、鉄骨が撤去され緑地帯を観光や潮干狩りに訪れた市民の駐車場に整備出来ないか伺う

答 有効活用出来るよう取組む

- 土木建築部長 玉城 勉
 - 緑地帯の利用について、市道及び緑地の維持管理上の課題等の観点も含め、県と協議調整を図り、有効活用出来るよう取組む。

※他に、「防災、減災、国土強靱化」についても質問しました。



うえち すがこ

上地 寿賀子



◀ **議会中継**

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。



おやかわ たかお

親川 孝雄



◀ **議会中継**

※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 PCR検査の実施、または検査費用の助成について

これから迎える旧盆や旧盆に限らず、県外にいる学生や南城市出身者が安心して帰省できる対策として那覇空港内検査や、民間検査機関、市販の検査キット費用の助成について。ゆまぢり会、会派ニライ・カナイが5月14日に市長へ要請をした「沖縄県が実施するPCR検査の自己負担額の一部助成」について。

答 一部助成で調整。対象は議論しているところ

- 市民部参事 森田 ゆかり
県が実施する機関で検査をした方へ自己負担額の一部助成をする方向で調整しており、予算は臨時交付金を活用したい。帰省する学生や南城市出身者を対象とするかについては、かなり議論しているところ。

質 子ども食堂の今後の展開、運営について

子ども食堂は食事のみならず学習支援で学びや進学の意欲向上にもなり、子ども達の未来に関わる事業だと思えます。平成29年12月議会一般質問でも取り上げましたが、その後の展開や継続する財源、課題、児童館や公民館の活用について。

答 財源や方法が課題。大里南児童館は廃止予定、北児童館も廃止か更地、集約の形で進めていく。

- 福祉部長 城間 みゆき
財源は内閣府補助金。令和3年度までのため、令和4年度以降の財源や支援方法が課題。公民館を活用できないかなど方向性を検討していきたい。
- 福祉部参事 外間 孝明
計画では大里南児童館は老朽化で廃止という形で、児童館としての用途を果たせなくなることから大里中央児童館に集約化となっている。
2地区（南児童館、北児童館）を、大里中央児童館に集約化する事で令和5年に大里南児童館の用途は廃止する予定となっています。
- 市長 瑞慶覧 長敏
北児童館に関してもどうするかというものこれから。廃止する、あと更地にするのか、あるいは集約でまとめるのかとか、そういう形で進めていきます。

質 知名土地改良区の畑地灌漑排水事業の導入について

知名土地改良区には灌漑排水施設がないため特に野菜の施設栽培に支障をきたし農業振興の阻害要因となっております。事業導入について伺います。

答 受益者のやる気を市役所が後押し

- 農林水産部長 玉那覇 勲
事業導入には受益者の機運の高まりとやる気が必要であります。基盤整備の中で農業用水の安定的確保は、今、重点的に進めております。知念地域では知名地区が未整備でありますので地域の盛り上がりに合わせて一緒に頑張っていきたいと思えます。

質 吉富51番地上方に設置された排水路の改修について

この排水路は、近年頻発する豪雨の度に氾濫するため下方の住宅地に被害をもたらしております。災害対策について伺います。

答 応急的処置と全体的面整備を含め考える

- 土木建築部長 玉城 勉
本市はゲリラ豪雨等で冠水が頻発しておりこの排水路は応急的措置修繕と全体的面整備を含め中長期的かつ農林サイドや国、県との連携を図りながらということになるかと考えております。

質 次期市長選挙について

2期目はチョービン市政の真価が問われます。次期市長選挙についての決意と意欲を伺います。

答 住み心地がよいまちを目指し 尽力していきたい

- 市長 瑞慶覧 長敏
私は、市民の声でまちづくりを貫いてまいりました。10数年以上着手できてなかった県道工事も地権者と丁寧接することで道が開け工事着工に至ったのもございます。南部東道路も市議会や商工会とも力を合わせ、予算増を勝ち取り、第4工区の暫定供用開始に繋げることができました。2期目はアフターコロナ・WITHコロナの新しいまちづくりが大きな柱となっていくと予想されます。市民と力を合わせ「住み心地がよいまち」を目指して全力を尽くしていきたいと考えております。



よしだ じゅん
吉田 潤



◀ 議会中継
※詳細については公開されている議事録または議会中継もぜひご覧ください。

質 1. 地域課題について

- ①山里地区の越波については海岸保全整備事業の、採択要件に該当しないとの答弁ですがいろいろな角度でチャレンジをして頂き国や県に要請ができないか伺います
- ②国道331号が通る知念地区の約500メートルの間に、道路照明がなく、通行するドライバーの安全安心が保てない状況の中で、区間には、三ヶ所にカーブがあり、特に危険な場所項目の局部照明に該当すると思いますが伺います

答 1. 該当しないとの答えでありましたが、引き続き検討していきたいと思えます

- 農林水産部長 玉那覇 勲
 - ①沖縄県また関係機関とも調整しながら知恵を絞って、何とかその辺の対策を引き続き検討していきたいと思えます。
- 土木建築部長 玉城 勉
 - ②三ヶ所のカーブもありますが車の交通量歩行者の量それと事故件数、その他いろんな基準がありそれらを照らし合わせると該当しないとの答えでありました。

質 2. 認定こども園について

市民に丁寧に説明すると以前に答弁がありました但未だに説明会が開催されないのはいかなる理由があるにせよ、誠意をもって対応すれば説明会は開催できたはずで。我々に対する答弁が反故にされたと言っても私は過言ではないと思えますが市長の選挙公約の一丁目一番地である市民の声を聞いて、誰一人取り残さない南城市を築き上げる政策は、いかなるものかと思えますが優先をすべき佐敷市民の声を、対面で聞くことに対し、かるんじてはいないか市長の所見を伺います

答 2. 説明会をしていきたいと思えます

- 市長 瑞慶覧 長敏

吉田潤議員のご指摘に関しては、真摯に受け止めさせていただきます、約束を反故にするとかそういう事ではありません。説明会はしっかりやっていくことは表明しておりますので、コロナの感染状況を見てできるだけ早い時期に説明会をしていきたいと思えます。

議会活動・委員会活動

総務福祉委員会

閉会中の継続調査

調査事件

- ① 今後の子育て政策について
- ② 自然災害について
- ③ コロナ対策について
- ④ 認定こども園について
- ⑤ 財政課題について

産業教育委員会

閉会中の継続調査

調査事件

- ① 財政課題について
- ② 自然災害について
- ③ 教育環境について



議員別出欠一覧表

議員名		第3回臨時会		第4回臨時会		第5回定例会									
		4月		5月		6月									
		19日		27日		10日	15日	16日	17日	18日		21日	22日	24日	28日
		本会議①	本会議①	委員会①	本会議①	本会議②	本会議③	本会議④	本会議⑤	委員会①	委員会②	委員会③	委員会④	本会議⑥	
議長	国吉昌実	○	○	/	○	○	○	○	○	委員会に所属していないため				○	
総務福祉委員会	松田兼弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	中村直哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	他	他	○	○	
	安谷屋正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	宮城秋夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新里嘉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	島袋裕介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	前里輝明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	上地寿賀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	大城竜男	○	○	○	他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	玉城健	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産業教育委員会	親川孝雄	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	知念俊也	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	運天貴也	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	森山悟	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	宮城康博	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	仲間光枝	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	吉田潤	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
	平田安則	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	
宮平憲二	○	○	/	○	○	○	○	○	○	他	/	他	他		

欠席の事由 ○：出席 △：途中出席 ▲：途中退席 除：除斥 公：公務 病：病休 他：その他

現職議員6名が表彰

現職議員6名が、全国市議会議長会より表彰を受けました。これは、永年の市議会議員としての活動が評価されたことによるものです。

6月28日の本会議終了後、議長より表彰状の伝達式が執り行われました。

今回、表彰を受けたのは、(写真左から)松田兼弘議員、玉城健議員、親川孝雄議員、中村直哉議員、吉田潤議員、前里輝明議員です。



安全・安心の医療・介護の実現と 国民のいのちと健康を守るための意見書

2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック（感染爆発）は、日本国内でも大きな影響を広げました。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」などが取りざたされ、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所の不足問題などです。これらの諸問題の背景には、90年代後半から続いてきた医療・介護・福祉など社会保障費の抑制策や、公衆衛生施策の縮減があります。

21世紀に入り、わずか20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして今回の新型コロナウイルスと、新たなウイルス感染とのたたかいは短い間隔で求められ、今後も新たなウイルス感染症への対応が必要になることは明らかです。

新型コロナウイルス感染対策の教訓を経て、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、そして新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

私たちは、国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記の事項を要請します。

記

1. 今後も発生が予想される新たな感染拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年6月28日

沖縄県南城市議会

あて先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、
財務大臣、総務大臣

新型コロナウイルス感染拡大に伴う 国民健康保険税(料)の特例減免等の 継続を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は終息せず、県民生活と中小企業の営業に、深刻な影響を与えており、多くの業者が倒産・廃業の瀬戸際にたたされている。

コロナ被害から中小業者の経営や従業員の雇用を守るためには、ひきつづき公的な支援策の継続と拡充が切実に求められている。

多くの個人事業主が加入する国民健康保険税(料)のコロナ特例減免が、今年度の3月末までの期限で実施されている。新型コロナウイルス感染症被害により売上が前年比30%以上減少した国保加入世帯に対し、国保税の全額免除を含む、画期的な減免制度である。また、感染した国保加入の被用者（労働者）に「傷病手当」を支給する特例も実施されている。「傷病手当」の支給対象を自営業者とフリーランスにも広げることが、中小業者支援の立場から重要となっている。

しかし、周知徹底の弱さなどにより、減免申請世帯数は、国保加入世帯の1割程度にとどまり、減免対象でありながら救済されていない世帯が残されている。

県内経済は、観光産業の落込みをはじめ、飲食業における時短営業とその取引業者への影響、建設業における工事の中断や遅延など、すべての業種が未だにコロナ以前の売上を回復できていない。コロナ被害から県内中小零細業者の営業と生活を支援するために、令和3年度も国民健康保険税(料)のコロナ特例減免を継続実施する必要がある。

よって、政府においては、令和3年度も、国民健康保険税(料)のコロナ特例減免等を継続実施し、国保における「傷病手当」対象を自営業者とフリーランスにも拡大するよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年6月28日

沖縄県南城市議会

あて先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

コロナ禍の中だからこそ、こどもたちの健やかな成長のために 「現物給付」への国のペナルティ全廃と18歳までこども医療費 無料制度実現こども医療費無料制度の改善を求める意見書

必要な時に安心して医療機関に受診できることは、こどもたちの心身の健やかな成長のために必要不可欠であり、多くの沖縄県民の願いでもあります。自治体によるこども医療費助成制度は、全国でも沖縄でも大きく広がっています。

2019年4月1日現在で、中学校卒業以上の年齢まで医療費を助成している全国の自治体は、「通院外来」で91.0%、「入院」で96.8%に達しています。「一部負担なし」「所得制限なし」「現物給付」といった「完全無料」を実現している自治体も確実に増えています。

沖縄県では子どもの貧困率が全国平均の倍以上になっており、多くのご家族が格差と貧困で苦しんでいましたが、2018年3月まで「現物給付で中学卒業まで医療費無料」を実現していたのは、南風原町だけでした。

このような状況を打開しようと同年5月、「子どもの医療費無料制度を広げる沖縄県民の会」が発足し、県知事や県議会あての署名運動が行われ、同年10月、「中学卒業まで早期に無料化を求める」県議会決議が全会一致で採択されました。そして、2020年11月27日、県は「2022年4月から、中学卒業まで医療費無料化」を発表しました。市町村も改善を進める予定です。

ただし、まだ県の制度としては「償還払い」(窓口立て替え払い)となっています。「現物給付」への不安材料の一つが、政府によるペナルティ(国民健康保険国庫補助金の削減)です。

財政的にも厳しい自治体が多い沖縄県でこども医療制度の改善を安定的にすすめるためには、「現物給付に対する国のペナルティ」全廃が必要です。そして少子化対策のためにも18歳までの医療費無料化を国の制度として実施すべきです。

いま、コロナ禍の中だからこそ、子どもたちの健やかな未来のために以下の項目の実行を国に求めます。

1. こどもの医療費助成制度を現物給付にした市町村への国民健康保険への国庫補助の削減は少子化対策にも逆行するものであり、ただちに全廃すること。
2. 18歳までの医療費無料化を国の制度として早期に実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年6月28日

沖縄県南城市議会

あて先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、厚生労働大臣

佐敷東地区沿岸部の住環境悪化に対する沖縄県の対応を求める意見書・要請決議

南城市佐敷地域は、中城湾の広大で静穏な水域を全面に有し、三山統一を成し遂げた尚巴志ゆかりの地で古くから港や海と深い関わりを持ちながら発展してきた地域であります。

旧佐敷町においては昭和60年代から地先海域を活用した「21世紀の海辺のまちづくり」を根幹に掲げ取り組みを進め、平成2年に沖縄県が進める中城湾港マリンタウンプロジェクトの「佐敷東地区」として「西原与那原地区」と共に港湾計画に盛り込まれ、地域住民も大きな期待を持ちその実現を心待ちにしておりました。

しかし、中城湾港における絶滅危惧種のトカゲハゼの環境保全の課題等から平成10年に計画縮小したものの事業化に至らず、今日まで港湾計画の見直しもないまま放置されている状況となっております。

この30年余の間、「西原与那原地区」は事業着手し、人工海浜、マリーナ、海浜緑地、県道、臨港道路などが整備され目覚ましい発展を遂げた一方、「佐敷東地区」は、トカゲハゼ等の環境保全は図られたものの、地域の悲願であった東西を連結する道路整備は実現せず、老朽化していく護岸の整備も行われないうちとなっております。

加えて先の大戦後、米軍による地先海域の浚渫土砂投棄により形成された築島の浸食や砂州の移動によって泥質干潟の陸化・マングローブの繁茂等が急速に進み、排水や漂着ゴミの滞留、排水路はけ口の閉塞等によって大雨時に背後集落・通学路では冠水が頻発し住環境は悪化する一方で、目指してきた海辺のまちづくりとは余りにかけ離れた状況となっております。

中城湾港マリンタウンプロジェクトは、沖縄県において「アメニティ豊かな海辺のまちづくり」として推進され、「佐敷東地区」は中城湾全体の港湾事業推進とトカゲハゼ保全との共存の観点から重要な役割を担い、国や県の港湾事業の整備促進にも大きく寄与しております。

しかし去る令和3年4月に中城湾港長期構想が公表されましたが、その策定に先立つパブリックコメントにおいて地域から多くの意見・要望も出されたものの、同構想の長期的な空間利用計画から「佐敷東地区」は除かれており、今後の中城湾港港湾計画の改訂で削除、置き去りにされないかと危惧されております。

こうした「佐敷東地区」の変遷や果たしてきた役割、取り残された佐敷沿岸地域の現状を踏まえて頂き、地域住民の安全安心な暮らしを守るため、県の責任ある対応によって早期に実現して頂きますようお願い申し上げます。

つきましては、次の事項については、米軍による地先海域の浚渫土砂投棄に起因するものであり、戦後処理の一環として行うべきである。また、中城湾港マリンタウンプロジェクト事業を推進してきた県の責務、港湾管理者としてトカゲハゼ等の保全等、環境との共生の観点等から、沖縄県が事業主体となり下記の課題解決に取り組んで頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 護岸排水路はけ口への閉塞を防ぐ対策（土砂の除去、導流堤の整備及び護岸排水口の改修等）を行うこと
2. 老朽化護岸の全面改修（養浜など海辺に親しめる護岸整備）を行うこと
3. 築島の保全対策（浸食を防止する護岸整備）及び利活用を行うこと
4. 新開と富祖崎を結ぶ湾岸道路の整備に関する支援を行うこと
5. 築島の保全と利活用と併せたトカゲハゼの最大生息地保全・環境の学習・観察の場とするための干潟環境整備を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。（以上、決議する。）

令和3年6月28日

沖縄県南城市議会

あて先（意見書）沖縄県知事
（要請決議）沖縄県議会議長

表紙写真募集

市内の風景や自然、おすすめのスポットなど、南城市の魅力をアピールできる写真を募集します。皆様の自慢の写真をお待ちしております。

- ❖ 応募作品は返却しないものとします。
- ❖ 応募作品は未発表のものに限り、他のコンテスト等と二重応募は不可とします。
- ❖ 応募者ご本人で撮影したもので、一切加工を施していないものに限ります。
- ❖ 応募作品の著作権、複製等全ての著作権は南城市議会事務局に帰属するとともに、南城市議会事務局が行う全ての活動で使用できるものとします。
- ❖ 人物が写り肖像権が発生した場合、南城市議会事務局ではその責任を負いかねます。

(人物が撮影されている場合は、応募者が責任をもって被写体ご本人に確認を行い、肖像権について承諾を得てください。)



応募作品は、下記アドレスへ送信をお願いします。メール本文にタイトル、住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日をご記入の上、送信して下さい。
記載された個人情報は、応募作品に関する問い合わせ等、必要な範囲内で使用します。



議会インターネット中継

ホームページで議会中継の動画を配信しています。
会議名や議員名を指定してご視聴いただくことが可能です。



<https://www.city.nanjo.okinawa.jp/shisei/gikai/live/>

議会議事録公開

ホームページで議会議事録を公開しています。
公開は会議終了の約3カ月後となりますことをご了解ください。



<https://www.city.nanjo.okinawa.jp/shisei/gikai/search/>

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。



あなたも市議会を傍聴してみませんか？

皆様が選んだ代表がどのような活動をし、どのような発言をしているのか、自分の目で見て、聞いて確認してみませんか。市政を知る良い機会です。
次回の定例会は9月に召集される予定です。

宛先・お問合せ先：南城市議会事務局

〒901-1495 沖縄県南城市佐敷字新里1870番地

E-mail gikai@city.nanjo.okinawa.jp TEL 098-917-5405 FAX 098-917-5438

編 集 後 記



市民の皆様こんにちは、いかがお過ごしでしょうか。梅雨明けし本格的な夏を迎え、コロナ禍によるマスク着用について十分体調を整え、熱中症対策の方も宜しくお願い致します。

今回の議会だよりにつきましては、南城市誕生以来の議会だよりを振り返り紹介し、2006年～2021年までの15年の歩みについては、南城市誕生の歴史が伺えます。

議会6月定例会においても、新型コロナ対策事業が数多く盛り込まれ、子ども達が学校での生活をより安

心安全に過ごせる為の事業など、新型コロナウイルス感染症対策事業者応援支援金など市民の皆様が安心・安全な暮らしを取り戻せるよう私たちも議論を行っています。広報委員6名は(議会だより)の紙面を分かりやすく見やすくする為に、日々奮闘し頑張っています。

市民が必要な情報を発信出来るよう、市民の皆様から(議会だより)に対する要望などもお寄せください。※この議会だよりを読めば南城市の明日がわかる。

結びに、市民の皆様、体調をしっかりと整え、コロナウイルス感染症をのり越えていきましょう。

議会広報委員 森山 悟